

月刊 シニアビジネスマーケット

超高齢社会のライフスタイルをデベロップする経営情報誌

SENIOR BUSINESS MARKET

2018
January
no.162

01

【特集】

シニアビジネスの 近未来

ベネッセスタイルケア、初の企業主導型保育所を川崎市に開設



ベネッセスタイルケア <https://www.benesse-style-care.co.jp/>

待 機児童問題解消と仕事・子育ての両立支援を目的に、内閣府が2016年度に創設した企業主導型保育事業、(株)ベネッセスタイルケアは、その第1号施設となる「ベネッセ登戸保育園」を、18年4月1日、川崎市多摩区に開設する。企業主導型保育所は、自治体を通さずに国から運営費・施設整備費などが助成されることから全国的に関心が高まっており、同社は20年以上の保育園運営の知見を活かし、自社の介護・保育職の人財確保と定着率アップを目指し、直接運営に乗り出すものだ。

施設は鉄骨造・地上5階建て複合ビルの2階(211㎡)を使用。対象は同社に在籍する常勤社員の子どもと「子ども・子育て支援法」における保育認定を受けた地域の子どもで、定員は0~2歳児30人(従業員・地域枠の合計)。開園時間は月曜~土曜日の7時~20時(日・祝・年末年始休み)。同社は大都市部を中心とした保育・介護事業を展開。運営事業所は保育・学童施設72拠点、高齢者向けホーム313拠点(17年12月1日時点)という体制で、地域貢献を推進している。

高齢者向け配食サービスのシルバーライフ、東証マザーズ市場に上場

シルバーライフ <https://www.silver-life.co.jp/>

FC店舗は年々増加しており、7月期末現在563店舗(対前年+69店舗)とし、高齢者人口増を背景に今後10~15年で1500店舗達成を目指している。生産体制は群馬県内の自社工場約4割、提携先工場で約6割を調理し、普通食、ムース食、低たんぱく食、やわらか食など、1000品目以上の豊富なメニューと低価格(普通食450円以下、税、おかずのみ)で、ニーズにキメ細かく対応。今期も増収増益を見込んでいる。

「ま れ愛」ブランドによる高齢者向け配食サービスでFC事業を展開する(株)シルバーライフは、2017年10月25日、東京証券取引所マザーズ市場に上場した。07年に設立し、17年10月末現在、資本金5億8549万5000円、17年7月期の売上高は52億4500万円(前期比26.4%増)、営業利益4億7500万円(同28.5%増)を達成。同社は要介護者を含む高齢者の個人宅に直接弁当を届ける(登録者宅の安全確認も行なう)ほか、全国の介護施設向け配食サービス、同業他社へのOEM(相手先ブランドによる生産)販売など、幅広い商品提供で業績を拡大している。

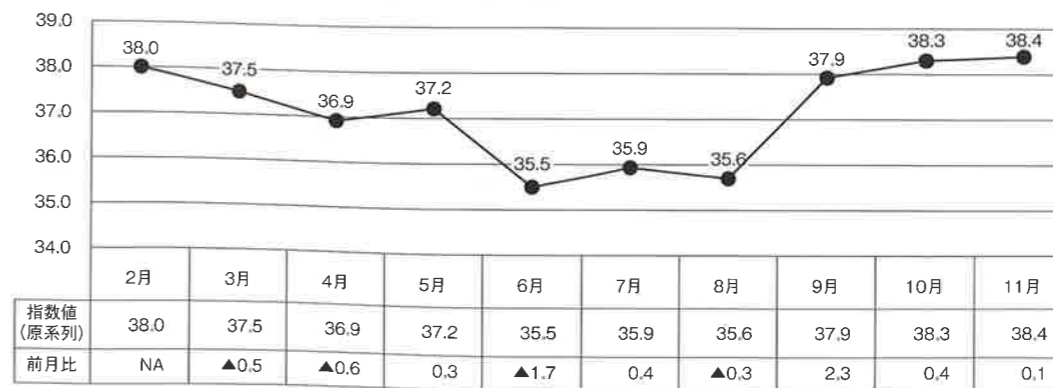
Monthly Watch

シニア市場の消費動向を指数化、17年10月から毎月発表「あおぞら上智シニア消費指数」

シニア層の資産運用コンサルティングやネットバンクに力を入れるなど、金融界で独自の戦略を進める(株)あおぞら銀行は、長年、国内消費を牽引する60歳代を中心とするシニア層に着目してきた。2016年にはシニア研究の基盤づくりを目指す、上智大学と産学連携に合意して以降、モノ・サービスに対する消費動向や意欲をわかりやすく指数化するため、インタビュー調査やインターネット調査を通して共同研究を進めてきたが、このほど、「あおぞら上智シニア消費指数」(シニアの消費指数)の開発に成功し、17年10月から毎月、同行の特設サイト(http://www.aozorabank.co.jp/brilliant60s/s_trend/as_trend.html)で算出速報値を発表しはじめた。

指数値の見方や意味するところは、特設サイトで確認していただきたいが、いまのところ最新である2017年の11月指数(12月発表)によれば、11月は前月からほぼ横ばいの38.4。2月からの推移をみると、5月までは弱含みの傾向が強かったが、6月になると1.7ポイントも低下、ほぼ横ばいだった7月と8月を経て、9月には37.9と前月より2.3ポイント、10月は38.3とさらに上昇した(別図)。今後もシニア層をターゲットに事業を展開するさまざまな業界(旅行、流通・小売り、健康サービス、食品・家電メーカー等)に対し、シニア市場の動向をつかむ基礎資料となるべく、シニアの消費指数を提供していく。なお、12月指数は18年1月下旬に発表される予定。

別図 「あおぞら上智シニア消費指数」の推移(2017年2月~11月)



あおぞら銀行 <http://www.aozorabank.co.jp/>



介護も高齢もこわくない
「高齢格差」にさようなら
みんなが楽しくなる
パフォーマンス心理学52のヒント

佐藤綾子=著
学研メディカル秀潤社
定価1,300円(税別)

電車に乗っている高齢者(特に男性)は「仏頂面」の人が多くという。表情筋が硬くなることに加え、そこには現役をリタイアし、「自己表現欲求」「承認欲求」が満たされないという心理的側面もある。とパフォーマンス心理学者である著者。本書では高齢者ならではの「付度する力」や「はぐくむ(育む、羽包む)力」を「高齢力」と表現。世界でも類をみない超高齢社会で、高齢力を活かしハッピーに生き抜く心構えを説く。



注文をまちがえる料理店

小国士郎=著
あさ出版
定価1,400円(税別)

今年4月から全国市町村で新オレンジプランに基づく認知症施策が本格化する。その前に関係者全員にお勧めしたいのが本書。この料理店、注文を取るのには認知症の方々、ハンバーグを注文しても餃子が出てくるといった間違いがよく起こる。お客はにっこり、スタッフのおばあさんも「てへっ」と大笑い。ネットで世界に配信されて大反響。注文を間違えても「ま、いいか」と、寛容と優しさが新たな価値に変わる。文も絵も楽しい。



メイクがシニアを元気にする
いくつになってもきれいでいたい

みきしほ=著
メディアアイランド
定価1,300円(税別)

シニアメイクには単にきれいになる以上に、思い出の呼びまし、いわゆる回想法としての効用があるという。著者は阪神・淡路大震災での体験を機に養護教諭からメイクセラピストに転身し、高齢者施設での無償での訪問美容活動をはじめた。当初はけんもほろろだったが、いまでは数カ月待ち。そんな著者が実践するシニアメイクの技法とセラピー効果、ボランティア活動や自らが設立した協会活動など、シニアビジネスへのニッチな挑戦をブログ風に綴っている。

Book Review



不安な個人、立ちすくむ国家

経産省若手プロジェクト=著
文藝春秋
定価1,500円(税別)

20歳~30歳代の若手官僚らが、この国が直面する「富の創造と分配」「セーフティネット」「国際秩序・安全保障」の3テーマにつき重ねた議論をまとめたレポート。霞が関らからぬアウトプットは2017年5月にHP公開されるや賛否を呼んだ。「人生100年時代」の諸課題にも多くを割かれ、死生観から若者世代への富の再配分まで踏み込んだ提言は刺激に富む。書籍版で付加された3世代の知識人との対論も含め、明らかにされた問題意識を共有し未来のあり方を考える契機にしたい。



人口減少と社会保障

山崎史郎=著
中央公論新社
定価880円(税別)

厚生労働省に在官していた当時、「ミスター介護保険」と呼ばれ、介護保険の立案と施行を推進してきたキーマンの1人である著者が、人口減少時代の到来と複雑化する社会変化を分析し、転換期にある介護、医療、年金、子育て支援など、新時代の社会保障が目指すべき方向性を示す。特に住まいの保障システムや高齢者重視から全世代型の社会保障システムへの転換、人口減少に適應したサービス改革など、幅広い視野からの提言として注目される。